

情報通信研究機構

NICT 先端研究

76

TYPE OF
INDUSTRY

京都府、大阪府、奈良
県にまたがる「けいは
んな学研都市」にある
NICTのユニバーサ
ルコミュニケーション
研究所(UCRI)、先
進的音声翻訳研究開
発推進センター(AST
REC)では人工知能

(AI)技術の研究開発は最新のAI技術を駆使した世界トップクラスの精度を持つ自然言語処理や音声認識、多言語翻訳、音声合成、画像処理などの技術が活用するための「社会画像処理などの技術を生み出されている。私は「技術は使われなければ意味がない」とを目標に掲げて研究でに鉄橋流出などの被害を自治体が迅速に発見するなどの成果を得ている。両研究開発でした技術を論文発表等

世界トップクラス 音声・言語処理技術 AI駆使で創出

ユニバーサルコミュニケーション
研究所 研究所長

木俣 豊

01年4月通信総合研究所(現NICT)入所。11年よりユニバーサルコミュニケーション研究所長、14年より先進的音声翻訳研究開発推進センター長兼務。博士(工学)。



科学技術・大学



また、多言語音声翻訳技術の実証システムとしてのスマートフォンアプリVoiceTraは2010年から公開されており、常には、現在では31言語間を開発しており、常には、現在では31言語間

このようにUCRIおよびASTRECでは研究室で開発された先進的な技術を社会に生み出すNICTの重要なAI技術の研究開発拠点となっている。研究者と一丸となつて開発した技術は既に多くの企業の商用サービスにも組み込まれている。特に多言語音声翻訳サービスなどを利用する場合には、ウェブページや説明書のどこかに「情報通信研究機構」や「NICT」の文字が書かれていないか探してもらいたい。

(火曜日掲載)